

第6回 研究者と実務者による国際協力勉強会 (JICA 大阪・民博・阪大 GLOCOL セミナー)

国際協力を効果的に進めていくためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が有効です。研究者は実務の現場を知り、研究成果の実践的価値を検討するために、実務者は日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に答えを見つけるために、お互いの意見を交換できる勉強会を実施しています。

この勉強会では、これまで5回にわたって、途上国人材の研修事業を題材に議論を深めてきました。今回からは、研究者と実務者の対話をテーマに、「知」の交流をいっそう促進してゆきたいと思えます。開発研究や地域研究、人類学に興味のある方や、団体職員、NGO スタッフ、コンサルタントとして国際協力実務に関わる方など、多方面からのご参加をお待ちしています。

※ 本勉強会は国際協力に関心のある方ならば、一般の方、学生の方など、どなたでもご参加いただけます。

【日時】 2008年10月31日(金) 18:30～20:30

【場所】 JICA 大阪(茨木市)

【プログラム】

18:30-18:40 開会

18:40-19:20 <報告>

先進国における援助事業への文化人類学(者)の活用についての現状と課題
人文系の学問は開発援助に役立つのでしょうか。欧米先進諸国の開発援助機関における文化人類学(者)の活用の現状と問題点について比較検討します。

19:20-20:30 ディスカッション (参加者全員で)

20:30 閉会

21:00 懇談会(希望者のみ JR 茨木駅周辺)

<報告者> 岸上伸啓

北米極北先住民の社会変化に関する人類学調査を行っている。国立民族学博物館教授。

<司会者> 鈴木 紀

メキシコなど中南米地域をフィールドとした開発人類学を研究・実践している。国立民族学博物館准教授。

【参加費用】 無料 【定員】 50名(希望者多数の場合は先着順)

【アクセス】 JR 茨木駅・大阪モノレール阪大病院前駅から無料シャトルバスあり。

所在地及びシャトルバス時刻表・乗り場はJICA大阪HP(<http://www.jica.go.jp/osaka/>)をご覧ください。

【申込み】 参加申込と件名に記入し、①氏名、所属、電子メールアドレス、②懇親会参加の有無を jicaminseminar@yahoo.co.jp (担当:川崎)まで電子メールでお送り下さい(10月26日(日)〆切)。

勉強会 事務局	国立民族学博物館・先端人類科学研究部 〒567-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 TEL:06-6878-8314/8275 担当者:鈴木 紀・白川千尋
勉強会会場および 当日の連絡先	独立行政法人 国際協力機構(JICA)大阪国際センター 〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25番1号 TEL:072-641-6903 担当者:難波幸子・野田樹

* 本勉強会は JICA 大阪、国立民族学博物館(みんぱく)、大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)の共同運営で行われています。